



古民家の構成要素がよくわかる

『古民家RE-UP』続編のご案内

- 伝統工法を継承するリフォーム設計施工基準 その2 -

千葉県古民家再生協会・編著



本書

本書籍の内容は、伝統民家における性能面を中心に検証し、その指針とその仕様基準の設定を目指しました。伝統工法で建てられた民家の相当数は、築100年以上経過しているもののが多数あります。その間、経年変化による建物の劣化、腐朽、変形が顕在化し、同時に生活構造や時代の感性に伴う間取りの変更や設備交換、採光部の拡張等、様々な修繕・改修が行われているのが現状です。そのような経緯から、創建当初もっていた家屋の性能面での全体的均衡性が失われてきているのも事実です。当初の民家はどのような状態であったのか、現住の伝統民家の状態、修理工事報告の記録、指標となるモデルの設定、現場計測等を踏まえ、伝統民家の住環境を考察・検証しました。前年度の報告書では記述しきれなかった、住宅資本としての有効活用、継続性に寄与するため、その要のひとつである「室内の快適性」の確保に焦点をあて、より詳しく記述しました。

【書名】 古民家RE-UP 伝統工法を継承するリフォーム設計施工基準 その2
 【体裁】 A4判121頁 モノクロ・図解一部カラー印刷
 【発行】 一般社団法人千葉県古民家再生協会 2015年3月刊
 【執筆代表】 高野祐之(当協会代表理事・日本建築家協会正会員)

指標編

現存する伝統民家から特質的価値を有するに事例を調査、分析し、考察を加え、指針・基準作成上のモデルとして位置付ける。モデルの中心をなす主題は、主に室内の温熱環境に関する内容に着目し、分析・評価をおこなった。

【本書コード番号101～131】

本書の

仕様編

「指針」と「基準」により構成。共に指標編の分析と評価を実際の改修に反映するための内容とした。

「指針」は計画レベルの基本事項とし、「基準」は具体的手法とその展開事項とし、各項目別に解説や図面を記している。

【本書コード番号201～218】

素材集解編

伝統工法の継承における必要な素材の特質、性能等を詳述している。ここでは工業系素材に関しては多くの情報が提供されていると判断し触れていない。「土壁の部」については工学的な実験結果などを踏まえて、材料の性質に適した下地の仕様や調合、施工方法について記した。

【本書コード番号301～337】

構成

データ・資料編

温熱環境や伝統素材などに関する物理的データを収録することを目的に据えた。しかし伝統民家で活用されていた素材などに関するデータや文献は限られる。そのような背景をふまえ、渡邊要著『建築計画原論』(1951)は有効な目安とも考えられ、物理的な数値データ類を抜粋し編集した。

【本書コード番号401～414】

古民家を守るやー

毎月定例会を開催しています。

日 時：毎月・第2土曜日・午後1時30分～4時30分

場 所：千葉県青少年女性会館ほか

参加者：会員、オブザーバー、入会希望者、役員

内 容：活動報告、意見交換、会員講話、ミニセミナー等

参加費：会員無料／一般 1000円 **※本チラシ持参の方は無料でご参加いただけます。**



定例会様子

【千葉県古民家再生協会について】

私たちの協会は、平成22年3月に設立し、今年で5周年を迎えた地域の小さな組織です。

現存する伝統民家は、千数百年の歴史と伝統技術、風土と生活文化の流れの中で育まれ、磨かれてきた美しい木造の住まいです。自然素材の力を活かし、職人衆の技を守り、民家を愛しみ、受け継ぎ、さらに創造的進化を目指すことに理念を据え、結成されました。

古民家への愛着や想いを共有する会員の方々と共に、伝統民家の調査・研究や交流・見学会等を通じて、新鮮で確かな歩みに向けて運営・活動しています。

また、私たちは非営利の組織ですが、一棟でも多く古民家を甦らせ、住み継がれていく実践の現場も事業の一環に含めています。知恵と技が再生に生きるよう可能な範囲でお応えする協会です。

【会員募集・入会のご案内】

入会ご希望の方は、会員規約をご確認の上、所定の入会申込書に必要事項を記入し、お申し込み下さい。

年会費は12,000円(税込)です。

年度途中からの入会は月割額となります。入会金はありません。なお、今年度、新会員の方には本書を差し上げます。

【主な活動内容】

● 定例の集会 每月第2土曜日

会員の活動報告、意見交換、会員講話、ミニセミナー等
場所：千葉県青少年女性会館ほか

参加者：会員、オブザーバー、入会希望者、役員

● 見学・研修会 年2回の予定

民家園等の野外博物館、重文民家などの研修、伝統的町並みの視察(平成27年度は栃木県益子町の予定)

● 研究・出版活動など

古民家マガジン：隨時会員に配布(雑論編と実践編)

出版物：『古民家RE-UP』編著 平成26年3月

創刊予定：『仮)季刊・古民家読本』春・秋号年2回

● 情報交流：ICTの運営、メディアへの協力・告知

● 親睦会など：1泊2日の小旅行(不定期・自由参加)



本部は田園の中の江戸期の農家を改修した古民家(理事長宅)におき活動中

お申し込み／お問い合わせ

《お問い合わせ先》

秋葉忠夫(理事) 携帯:080-5545-0814

都澤陽子(事務) 携帯:090-9101-0825

Eメール：info@chiba-kominka.com

ホームページ <http://www.chiba-kominka.com/>

《FAXの方はお手数ですが、下記にご記入の上、ご返信ください。》

FAXご返信先：**0479-72-0824** (担当・秋葉宛)

本書籍のお問い合わせ

お名前：

ご連絡先電話番号：

会員募集のお問い合わせ

定例会参加のお申込み

お問い合わせ内容等：
